個別施設計画一覧表（橋梁）

【更新年月日：令和2年3月】

個別施設整理番号	林道台帳索引番号	路線名	林道種類及び区分	橋梁名	所在地	起点からの距離(km)	建設年度(西暦)	供用年数(年)	種別	型式	道路橋示方書	橋格(設計荷重)	橋下条件	橋長(m)	支間長(m)	幅員(m)	車道幅員(m)	上部工形式	橋台工形式	橋脚工形式	基礎形式	海岸からの距離(km)	施設の現況			計画内容					優先度	措置記録							備考
																							点検実施年月日	判定区分	所見等	計画期間	内容		実施予定時期	対策費用(概算:百万円)		実施年月日	内容		対策費用(百万円)	再判定実施年月日	再判定区分	
																											分類	概要(数量)					分類	概要(数量)					
		林道寺ノ沢線	自動車道２級	寺ノ沢橋	上北郡野辺地町字寺ノ沢		2002	17	ＰＣ橋	ﾗｰﾒﾝ橋	平成8年	Ａ活荷重	国道279号	96.0	95.5	6.0	4.5	ラーメン橋	逆Ｔ式橋台	不　明	直接基礎	不明	2019/10/24	Ⅱ	ゴム支承に軽微な亀裂	R2～R6	点検	1箇所	R4 R6	1	中							
		林道萌出線	自動車道２級	鳴子坂橋	上北郡野辺地町字坊ノ塚		1990	29	ＰＣ橋	ﾗｰﾒﾝ橋	昭和55年	Ａ活荷重	国道279号(側道)	58.7	58.7	6.0	5.0	ラーメン橋	その他	不　明	直接基礎	不明	2019/10/24	Ⅰ	特になし	R2～R6	点検	1箇所	R4 R6	1	低							
		林道萌出線	自動車道２級	新鳴子坂橋	上北郡野辺地町字坊ノ塚		1999	20	ＰＣ橋	ﾗｰﾒﾝ橋	平成8年	Ａ活荷重	国道279号	55.8	55.8	6.0	5.0	ラーメン橋	その他	不　明	直接基礎	不明	2019/10/24	Ⅰ	特になし	R2～R6	点検	1箇所	R4 R6	1	低							

※個々の施設毎に作成　　別添の別紙（個票）

個別施設整理番号		林道台帳索引番号番号		施設管理者	野辺地町
路線名	林道萌出線	林道種類及び区分	自動車道２級	橋梁名	鳴子坂橋
施設の所在地	上北郡野辺地町字坊ノ塚	起点からの距離		建設年度	1990
供用年数	29 年	種　別	ＰＣ橋	型　式	ラーメン橋
道路橋示方書	昭和55年	橋格（設計荷重）	Ａ活荷重	橋下条件	国道279号（側道）

施設概要	施設の規模	橋長（支間長）	58		幅員（車道幅員）	5
	施設の構造等	上部工型式	ラーメン橋			
			鋼製（使用鋼材）	—	塗装使用の有無	無
			支承形式	—	落橋防止の有無	有
		橋台工型式	その他		基礎形式	直接基礎
		橋脚工型式	—		海岸からの距離	—
	施設の目的 利用実態等	１日５台程度				
施設の状態等の概要	点検診断日	令和1年10月24日				
	調査結果	所々で、路面の段差や路肩部の土砂堆積が見られるものの、十分健全と判断出来る状態である。				
	健全性の 診断結果	Ⅰ （健　全）	道路橋の機能に支障が生じていない状態。			
	劣化原因	経年劣化によるものと考えられる。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和6年度				
	内　容	劣化が確認された箇所を中心に目視点検を実施し、必要に応じて補修を行う。				
	実施予定時期	令和4年9月頃				
	施設の優先度	低	（優先度の考え方） 健全性の診断結果から、優先度は「低」とした。			
	対策費用 （概算）	1百万円				
管理方法	管理方法	定期点検にて維持管理を推奨				

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用（百万円）			0.02		1					
対策の内容・実施時期			目視点検		定期点検					

備　　考
落橋以外での危険材料として落下物防止柵の落下が考えられる。 物を投げ捨てられたりなどの懸念は、落下物防止柵が機能しているので、かなりの故意でない限り問題ないと考えられる。 現状では、ボルトのゆるみや欠損、損失などは確認されておらず、問題はないと考えられるが、 日常点検で小まめに現状を把握し、大きな事故を未然に防ぐことが重要である。

※個々の施設毎に作成　　別添の別紙（個票）

個別施設整理番号		林道台帳索引番号番号		施設管理者	野辺地町
路線名	林道萌出線	林道種類及び区分	自動車道２級	橋梁名	新鳴子坂橋
施設の所在地	上北郡野辺地町字坊ノ塚	起点からの距離		建設年度	1990
供用年数	20 年	種　別	ＰＣ橋	型　式	ラーメン橋
道路橋示方書	平成8年	橋格（設計荷重）	Ａ活荷重	橋下条件	国道279号

施設概要	施設の規模	橋長（支間長）	58		幅員（車道幅員）	5
	施設の構造等	上部工型式	ラーメン橋			
			鋼製（使用鋼材）	—	塗装使用の有無	無
			支承形式	—	落橋防止の有無	有
		橋台工型式	その他		基礎形式	直接基礎
		橋脚工型式	不　明		海岸からの距離	不明
	施設の目的 利用実態等	１日５台程度				
施設の状態等の概要	点検診断日	令和1年10月24日				
	調査結果	3径間で、排水桝の土砂詰りや主桁橋面の漏水あとが見られるが、十分健全と判断出来る状態である。				
	健全性の 診断結果	Ⅰ （健　全）	道路橋の機能に支障が生じていない状態。			
	劣化原因	経年劣化によるものと考えられる。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和6年度				
	内　容	劣化が確認された箇所を中心に目視点検を実施し、必要に応じて補修を行う。				
	実施予定時期	令和4年9月頃				
	施設の優先度	低	（優先度の考え方） 健全性の診断結果から、優先度は「低」とした。			
	対策費用 （概算）	1百万円				
管理方法	管理方法	継続、定期点検にて維持管理を推奨				

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用（百万円）			0.02		1					
対策の内容・実施時期			目視点検		定期点検					

備　　考
落橋以外での危険材料として落下物防止柵の落下が考えられる。 物を投げ捨てられたりなどの懸念は、落下物防止柵が機能しているので、かなりの故意でない限り問題ないと考えられる。 現状では、ボルトのゆるみや欠損、損失などは確認されておらず、問題はないと考えられるが、 日常点検で小まめに現状を把握し、大きな事故を未然に防ぐことが重要である。

※個々の施設毎に作成　　別添の別紙（個票）

個別施設整理番号		林道台帳索引番号番号		施設管理者	野辺地町
路線名	林道寺ノ沢線	林道種類及び区分	自動車道２級	橋梁名	寺ノ沢橋
施設の所在地	上北郡野辺地町字寺ノ沢	起点からの距離		建設年度	2002
供用年数	17 年	種　別	ＰＣ橋	型　式	ラーメン橋
道路橋示方書	平成8年	橋格（設計荷重）	Ａ活荷重	橋下条件	国道279号

施設概要	施設の規模	橋長（支間長）	95.5		幅員（車道幅員）	4.5
	施設の構造等	上部工型式	ラーメン橋			
			鋼製（使用鋼材）	―	塗装使用の有無	無
			支承形式	―	落橋防止の有無	有
		橋台工型式	逆Ｔ式橋台		基礎形式	直接基礎
		橋脚工型式	不　明		海岸からの距離	不明
	施設の目的 利用実態等	１日５台程度				
施設の状態等の概要	点検診断日	令和1年10月24日				
	調査結果	ゴム支承に１本程度の軽微な亀裂が生じている。 地覆の立ち上がり部のゴムシールが劣化しており、そちらから桁下へとの漏水が確認されたため、早期の対応をすることで劣化の進行を抑えることが出来ると思われる。				
	健全性の 診断結果	Ⅱ （予防保全段階）	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	経年劣化によるものと考えられる。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和6年度				
	内　容	劣化が確認された箇所を中心に目視点検を実施し、必要に応じて補修を行う。				
	実施予定時期	令和4年9月頃				
	施設の優先度	中	（優先度の考え方） 道路橋の機能に支障が生じていないが、若干の劣化がみられることから、優先度は「中」とした。			
	対策費用 （概算）	1百万円				
管理方法	管理方法	継続、定期点検にて維持管理を推奨				

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用（百万円）			0.02		1					
対策の内容・実施時期			目視点検		定期点検					

備　　考
現状の漏水にさらされている状況により、今後の点検を鑑みて、排水ますの清掃や、地覆立ち上がり部のゴムシールの補修など下部構造の改善を図る。また、落橋以外での危険材料として落下物防止柵の落下が考えられる。物を投げ捨てられたりなどの懸念は、落下物防止柵が機能しているので、かなりの故意でない限り問題ないと考えられる。現状では、ボルトのゆるみや欠損、損失などは確認されておらず、問題はないと考えられるが、日常点検で小まめに現状を把握し、大きな事故を未然に防ぐことが重要である。